

# 「九州・山口の近代化産業遺産群」を世界遺産に!

～鹿児島島の集成館などが候補に～

日本は、幕末以降、西洋以外の地域で初めて、それも極めて短期間に飛躍的な近代化を遂げました。その中でも、島津斉彬によって鹿児島市磯地区に形成された日本最初の工場群(集成館)で培われた技術は、その後の九州・山口を中心とする日本の初期の近代化に大きく貢献したのです。

本県を含む九州・山口の6県12市では、これら日本の近代化に貢献した遺産群の世界遺産登録を目指しています。

## 「九州・山口の近代化産業遺産群」って?

欧米諸国からの圧力・影響をいち早く受ける位置にあった九州・山口は、大砲製造、製鉄、造船、採炭などに取り組み、日本の近代化の大きな原動力となりました。

「九州・山口の近代化産業遺産群」は、そのことを示す貴重な遺産群です。

平成21年1月には、ユネスコの世界遺産暫定一覧表に記載され、我が国の世界遺産候補になりました。



## 世界遺産って?

世界遺産条約に基づいて、ユネスコ(国連教育科学文化機関)が登録を行っている、国境を越えて人類が共有し、次世代に受け継いでいくべき遺産です。世界遺産には、自然遺産・文化遺産・複合遺産があり、日本では自然遺産の屋久島や、文化遺産の法隆寺など現在14件(自然遺産3件・文化遺産11件)が登録されています。

## 本県地域(集成館の先駆的工場群)の資産

薩摩藩の集成館事業関連資産は、九州・山口の中でも先駆的な役割を果たしたものです。島津斉彬の時代、鹿児島市磯地区に日本で最初の工場群が形成され、ここで培われた技術は、日本の近代化に貢献しました。



旧集成館機械工場

我が国最古の洋風工場建築物。溶結凝灰岩が使われている。(1865年築造)



旧集成館

反射炉(鉄製砲を鑄造するための炉)の基礎部。(1857年築造)



旧鹿児島紡績所技師館

イギリス人技師の住居として建設された建物。(1867年築造)

## 他県の候補地域の主な資産 (候補地域は全8地域)



萩の工業化初期の時代の関連資産と徳川時代の文化背景(山口県)



三池炭鉱、鉄道、港湾(福岡・熊本県)



三菱長崎造船所施設、炭坑の島、その他関連資産(長崎県)



八幡製鐵所(福岡県)



## 世界遺産登録までの流れ

ユネスコの世界遺産暫定一覧表に記載(平成21年1月)

↓

専門家委員会から提言書提出(平成21年10月)

↓

世界遺産登録に向けた推薦書の準備作業 (今後の取り組み)

- ・顕著な普遍的価値の証明
- ・国内における万全な保護措置(遺産の保存管理計画の作成など)

↓

国から世界遺産委員会に推薦書を提出

→ ユネスコの諮問機関による審査→世界遺産委員会で審査

→ **世界遺産登録**

## 提言書の概要

- 本遺産群は世界文化遺産として登録に値するとして評価。
- 構成資産にふさわしいとして「集成館の先駆的工場群」を含む8つの候補地域を提示。

※ 詳細については県のホームページをご覧ください。(ホーム>教育・文化・交流>世界遺産)

産業遺産の世界的権威であるニール・コソン卿(専門家委員会統括委員長)から提言書を受け取る伊藤知事(10月22日)



## 鹿児島の遺産をもっと知ろう

NPOなどと協力して鹿児島の近代化産業遺産の理解を深めるセミナーを開催しています。セミナーやまち歩きに参加して先人たちの偉業に触れたり、遺産を生かした地域づくりについて考えてみませんか?

### 今後のセミナー開催予定

(問い合わせ先) NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 099(227)5343

日時	場所	テーマ	講師
平成21年12月10日(木) 午後6時~7時半	鹿児島市役所 みなと大通り別館 6階会議室	鹿児島のものづくり	長谷川 雅康 氏(鹿児島大学教育学部教授) 渡辺 芳郎 氏(鹿児島大学法文学部教授)
平成22年 2月10日(水) 午後6時~7時半		「九州・山口の近代化産業遺産群」の魅力とは?	砂田 光紀 氏 (オフィスフィールドノート代表/「九州遺産」著者)